

教科(科目)	地理歴史（地理探究）	単位数	2	2単位	学年(コース)	5学年
使用教科書	新詳地理探究(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)					
副教材等	新編地理資料2025(とうほう) データブックオブザワールド(二宮書店) 地理10分間テスト(山川出版)					

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①幅広い教養を身につけ、他者と協働しながら、粘り強く挑戦し続け、地域社会や国際社会に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材を育成します。 ②主体的、自律的な人間として、行動力にあふれ、自他を大切にする思いやりの心とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成します。 ③主体的に学ぶ力を身に付け、社会における課題等に気づき、創意工夫、試行錯誤を重ね、その解決のために行動できる人材を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、発達段階に応じて1・2年を「基礎の充実」、3・4年を「発展・挑戦」、5・6年を「自律・深化」に分け、学習内容の確かな定着、主体的で対話的な学習態度の育成を図りながら次の教育活動を展開します～ ①総合的な応用力、学問への探究心を育むとともに、知識や技能を活用するための思考力、判断力、表現力を育成する課題解決型の授業を実施します。 ②他者とコミュニケーションを取りながら、地域社会や我が国の魅力を国内外に発信できる知識・技能等を高めるための学習活動を実施します。 ③身に付けた力を社会で発揮するため、地域貢献活動、社会体験活動への参加を推進します。 ④自己肯定感を高め、他者を思いやり、多様性を理解する態度等を育成するため、系統的な特別活動や学年を超えた多様な体験活動を実施します。

2 学習目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通しての資質・能力を育成すること。この資質・能力は、①知識及び技能の習得。②思考力・判断力・表現力等の育成。③学びに向かう力・人間性等の育成のことである。①の知識は、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性、地理的特色や課題の理解のことであり、技能は、地図や地理情報システムを用い、地理的情報を調べる技能のことである。②の考察力とは、地理的事象を系統・地誌的に多面・多角的に考察する力のことであり、判断力は、地理的課題の解決に向けて構想する力のことである。そして表現力等は考察・構想したことを説明したり、議論したりする力のことである。③の学びに向かう力とは、地理的な課題を主体的に探究しようとする態度のことで、人間性等とは日本国民としての自覚や我が国の国土に対する愛情や世界の多様な文化を尊重することの大切さを自覚していることである。

3 指導の重点

- ① 社会的事象に対する知識及び事象の規則性、傾向性、地域的特色や課題の理解を深める技能を身につける。
- ② 地理的な事象を多面・多角的に考察する力、地理的課題の解決にむけて構想する力を身につける。
- ③ 地理的な課題を主体的に探究しようとする態度や日本国民としての自覚、日本の国土に対する愛情を涵養する。

世界の多様な文化を尊重する態度を養う。基礎事項の定着を目指すとともに、科目への興味・関心を高めることを通じて、現代の諸課題に対して自主的・自立的にアプローチできる能力を育む。

- ④ 世界の多様な文化を尊重する態度を養う。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・知識及び技能の習得のために、地図や地理情報システムを用い、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性、地域的特色や課題を理解し、様々な課題を解決するための基礎的な知識を得ようとしている。	・思考力、判断力、表現力等の育成のために、現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景や国際社会の変化を踏まえて地誌的に考察したりし、地理的課題の解決に向けて考察・構想したことを説明したり議論したりしている。	・学びに向かう力、人間性等の涵養のために、地理的な課題を主体的に探究しようとする態度を身につけ、日本国民としての自覚や日本の国土に対する愛情を育みつつ、世界の多様な文化を尊重することの大切さを自覚し人間性を向上させている。

5 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	- 世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性、地域的特色や課題を理解しようとしている。 - 地図や地理情報システムを用いて、地理的情報を調べようとしている。	- 地理的事象を系統・地誌的に多面・多角的に考察しようとしている。 - 地理的課題の解決に向けて構想する力を身につけようとしている。 - 考察、構想したことを説明したり、議論したりする力を身につけようとしている。	- 地理的な課題を主体的に探究しようとしている。 - 日本国民としての自覚を育もうとしている。 - 我が国の国土に対する愛情を育もうとしている。 - 世界の多様な文化を尊重する心を養おうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、定期考査、小テスト、レポートやワークシートなどから、評価します。	以上の観点を踏まえ、定期考査、小テスト、レポートやワークシートなどから、評価します。	以上の観点を踏まえ、授業中の発言、発表や討論への取組の観察レポートや提出物などから、評価します。

6 学習計画

月	単元名		学習活動(指導内容)	時数	評価方法
4	第一部現代世界の系統地理的考察 第1章自然環境 1節 地形 1 地形の成因と地球表面の起伏 2 地球規模の大地形 3 河川流域と海岸にみられる小地形 4 そのほかの特徴的な小地形 2節 気候 1 気候の成り立ち 2 気候と生態系 3 世界の気候区分 4 気候変動と異常気象	6	地球規模の大地形や小地形などの様々な地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて理解し、多面的・多角的に考察し、表現する。 地形について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。 気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解し、多面的・多角的に考察し、表現する。 気候について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	6	- 小テスト - 提出課題 - 授業態度 - 朝テスト

5	3節 日本の自然環境 1 日本の地形 2 日本の気候 3 開発に伴う災害と防災・減災の取り組み 4節 地球環境問題 1 地球環境問題とは 2 さまざまな地球環境問題 3 地球環境問題の解決に向けた取り組み	6	日本列島の地形や気候など多様な自然環境にはどのような特徴があり、自然災害とどのように関連しているかについて理解し、多面的・多角的に考察し、表現する。 日本の自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。 様々な地球環境問題を解決して、地球と人間が共存できる持続可能な社会をつくりだすためには、どのような考え方で、どのような取り組みをすればよいかについて、理解し、多面的・多角的に考察し、表現する。 地球環境問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	6	・小テスト ・提出課題 ・授業態度 ・朝テスト
6	第2章 資源と産業 1節 農林水産業 1 農業の発達と分布 2 農業の地域区分 3 現代世界の農業の現状と課題 4 日本の農業の現状と課題 5 世界と日本の林業 6 世界と日本の水産業 2節 食料問題 1 世界の食料問題 2 日本の食料問題 3節 エネルギー・鉱産資源 1 エネルギー資源の種類と利用 2 化石燃料の分布と利用 3 電力の利用 4 鉱産資源の種類と利用	8	農林水産業は、自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきたことを理解する。 農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性がみられるか理解する。 食料の分配の世界的な偏りや、飽食や飢餓がみられる地域とその原因は何かについて理解し、多面的・多角的に考察し表現する。 食料問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。 世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや、エネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて理解し、多面的・多角的に考察し、表現する。 エネルギー・鉱産資源について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	8	・小テスト ・提出課題 ・授業態度 ・朝テスト ・定期考査

7	4節 資源・エネルギー問題 1 資源・エネルギーをめぐる課題 2 日本の資源・エネルギー問題 5節 工業 1 工業の発達と種類 2 工業の立地 3 世界の工業地域 4 現代世界の工業の現状と課題 5 工業の知識産業化とスタートアップ企業 6 日本の工業	6	これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し、今後、資源・エネルギー問題を解決し、持続可能社会を実現するためには、どのような考え方が必要かについて理解し、多面的・多角的に考察し、表現する。 資源・エネルギー問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。 様々な製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業は、どのように発展し、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしていることについて理解し、多面的・多角的に考察し、表現する。 工業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	6	・小テスト ・提出課題 ・授業態度 ・朝テスト
9	6節 第3次産業 1 経済発展と第3次産業 2 商業の現状と変化 3 商業以外の様々な第3次産業 第3章 交通・通信と観光、貿易 1節 交通・通信 1 世界を結ぶ交通 2 日本の交通の特徴 3 情報通信の発達	8	経済が発展し、物やサービスへの需要が高まったため、主力の産業となった第3次産業の現状はどのようなかについて理解し、多面的・多角的に考察し、表現する。 第3次産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。 社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網には、なぜ傾向や地域性、地域間格差が現れているかについて、理解し、多角的・多面的に考察し、表現する。 交通・通信について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	8	・小テスト ・提出課題 ・授業態度 ・朝テスト ・定期考査
10	2節 観光 1 余暇の拡大と観光産業 2 日本の観光とその変化 3節 貿易と経済圏 1 世界の貿易と地域間格差 2 貿易の自由化と経済連携 3 日本の貿易	8	日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや、観光の特徴や利点、課題について理解し、多面的・多角的に考察し、表現する。 観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。 拡大が続けている世界の貿易では、地域性や地域間格差が現れてきているのは、なぜかについて理解し、多面的・多角的に考察し、表現する。 貿易と経済圏について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	8	・小テスト ・提出課題 ・授業態度 ・朝テスト

11	第4章 人口、村落・都市 1 節 人口 1 世界の人口 2 人口の移動 2 節 人口問題 1 世界の人口問題 2 日本の人口問題	7	増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴があるか理解し、多角的・多面的に考察し、表現する。 人口について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。 社会情勢や文化などの様々な要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて、理解し、多面的・多角的に考察し、表現する。 人口問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	7	・小テスト ・提出課題 ・授業態度 ・朝テスト ・定期考査
12	3 節 村落と都市 1 集落の成り立ち 2 村落の形態と機能 3 都市の成立と形態・機能 4 都市圏の拡大と都市の構造 4 節 都市・居住問題 1 発展途上国の都市・居住問題 2 先進国の都市・居住問題 3 日本の都市・居住問題	7	村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について理解し、多面的・多角的に考察し、表現する。 村落と都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。 世界の都市が持続的に発展していくための課題、日本都市の課題と解決するための取り組みについて理解し、多面的・多角的に考察し、表現する。 都市・居住問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	7	・小テスト ・提出課題 ・授業態度 ・朝テスト
1	第5章 生活文化、民族・宗教 1 節 衣食住 1 世界の衣服と食生活 2 世界の住居と衣食住の画一化 2 節 民族・宗教と民族問題	6	自然環境や社会環境などを反映して形成されてきた伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているかについて、理解し、多面的・多角的に考察し、表現する。 衣食住について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。 世界の様々な民族の言語や宗教の独自性、各地にみられる民族問題の背景との関わりについて理解し、多面的・多角的に考察し、表現する。 民族・宗教と民族問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	6	・小テスト ・提出課題 ・授業態度 ・朝テスト

2	3節 国家の領域と領土問題 1 現代世界と国家 2 領土問題と解決への取り組み 3 日本の領域と領土をめぐる問題 第2部 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 1節 地域区分 1 地域区分の意義と指標	6	国家の領域は、様々な境界線で区分されていること、領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて理解し、多面的・多角的に考察し、表現する。 国家の領域と領土問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。 世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域のとらえ方などを理會し、多面的・多角的に考察し、表現する。 現代世界の地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	6	・小テスト ・提出課題 ・授業態度 ・朝テスト ・定期考査
3	第2章 現代世界の諸地域	2	現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地域的課題などを理解し、多面的・多角的に考察し、表現する。 現代世界の諸地域についてよりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	2	・課題提出
	1 探究活動	3	自主的に課題を設定し、資料を収集・分析し自分の意見をまとめる。 共通テスト対策問題に取り組む。	3	レポート

計 73 時間 (48 分授業)

6 課題・提出物等

- ・ 週末課題、レポート等
- ・ 長期休業中の課題

7 担当者からの一言

グローバル化が進展している中で、国際理解の必要性が増している。国際社会の様々な事象を地理的な見方、考え方により、課題を追究したり解決したりする能力は現代社会を生きる人間の必須の能力である。これらを地理探究で身につけることは有意義なことであるので是非前向きに取り組んでもらいたい。